

本学創立118周年式典



久しく参列者が会場を埋めた記念式典（富士見ホール）

日本歯科大学創立118周年記念式典は、6月1日の創立記念日に、約300名が参列して、東京富士見で開催された。名誉博士号授与、永年勤続者表彰が併せて行われた。卒業50年・25年創立記念式典特別参列制度（ジュビリー5025）の校友多数も参列した。午後からは創立記念式典祝賀会が、ホテルメトロポリタンエドモントで開催された。

日本歯科大学創立118年にわたる歴史が祝詞の中で朗々と奏上され、中原泉理事長が神前に進みでて、玉串を奉奠すると参列者は二礼二拍手一礼をもって

復活した式典・祝賀

本学の創立118周年記念式典は、6月1日の創立記念日に、約300名が参列して、東京富士見で開催された。名誉博士号授与、永年勤続者表彰が併せて行われた。卒業50年・25年創立記念式典特別参列制度（ジュビリー5025）の校友多数も参列した。午後からは創立記念式典祝賀会が、ホテルメトロポリタンエドモントで開催された。



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行人 中原 泉
編集人 行年 6 回
発行 1 部 100 円
定価 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

五つ目の特色をめざす

理事長式辞

私ども日本歯科大学は、四つの大きな特色を有する。

その一は、明治40年に創立されたのが国最古の歯科大学である。

その二は、東京と新潟に歯学部を有する世界最大の歯科大学である。

その三は、歯学部に“生命”を冠する世界で唯一の歯科大学である。

その四は、全国に約一万二千人の卒業生を有する世界最多の歯科大学である。

かように、本学は歯科大学としては、最古、最大、唯一、最多を誇り、わが国歯科大学をめざす。（要旨）

神事を終えて神職が退場したのち、中原理事長が、創立118周年記念式典に立ち会えた喜びと誇りを語った。

式辞は、本年5月16日に「最高齢の歯科医師（男子）」として、ギネス世界記録に認定された山梨の渡邊悦郎先生（40回卒）の紹介にはじまり、メリーランド大学歯学部（前身は世界最古のボルチモア歯科医学校）のC・ストーリー歯学部長が、日本歯科大学は世

界最大の歯科大学と認証した逸話を披露した。ついで、本学の最古

名誉博士 高山直秀先生



最大、唯一、最多という四つの特色をあげ、五つ目の「最高」の歯科大学をめざすと宣言した。

ついで渡邊儀一郎校友会長が祝辞を述べた。ここで、名誉博士号授与式に移った。

中原理事長は、千葉大学医学部を卒業した小児科医で、歯科医学の祖であるP・フォシヤール研究の第一人者の高山直秀先生を紹介し、先生の功績を披露した。

そして、中原理事長より高山先生に、第27号の名誉博士の学位記が

授与された。このあと、高山先生は中原理事長が1984年当時、パリ大学からフォシヤールの手稿全ページのコピーの提供を受けたことから始まった研究の経緯と協力を語り、謝辞とした。

つづいて、永年勤続者表彰に移る。20年勤続者22名、30年勤続者21名が呼びあけられ、20年勤続者を代表して水橋史教授（新潟・補綴）、30年勤続者を代表して五味治徳教授（東京・補綴）が、中原理事長より表彰状を授与された。表彰者を代表して五味治徳教授が謝辞を述べた。

おわりに、参列者全員で校歌を斉唱し、12時15分に閉式した。

このあと会場を移して、13時よりホテルメトロポリタンエドモントにおいて、祝賀会が催された。席上、藤井一維学長が創立118周年を祝って挨拶した。



永年勤続者代表の五味教授の謝辞

東京の石原正道先生（57回卒）は、4月中旬に新宿のOM SYSTEM GALLERYにおいて、「石原正道写真展 叢（KUSAMURA）」を開催されました。

先生は、二科会写真部会員・同会理事の写真家です。このたびは先生の代表作「叢」の、写真による独自の芸術表現を追求した作品を多数展示されました。（S・N）

歯鏡

東京・新潟の新職員

記念碑と銅像を清拭

創立118周年記念日の前後に、両学部の新職員が記念碑と銅像の清拭を行った。生命歯学部では「日本歯科大学発祥の地」の記念碑を3名、新潟生命歯学部では「中原市五郎先生の像」を3名の新職員が入念に清拭した。（左・新潟、右・東京）



ハノシゴトフエスティバル

県内の小中高生が参加して

新潟生命歯学部と新潟短期大学の共催イベント「ハノシゴトフエスティバル2024」が、6月30日に新潟キャンパスにおいて実施された。

歯やお口に関する仕事について、広く知ってもらいたいという目的で、新潟県内の小学生・中学生・高校生を対象とし、今回のイベントでは、66組140人の大勢の方に参加いただいた。

今回のイベントでは、体験実習を①歯科衛生士編（PMTC）、②歯科技工士編（印象採得）の二つに分けて行っ

が、今回は新潟病院4階の小児・矯正歯科診療室を、体験実習の会場として使用することができた。

その他にも、医の博物館ミュージアムツアー、ハノセカイの道具展示、白衣を着て自由に撮影ができるフोटオスポット、スタンプリーによる景品交換など、参加者に楽しく学んでもらえるように、多くのプログラムを準備した。悪天候にも関わらず、各会場において楽しそうな声が響き渡った。

今回のハノシゴトフエスティバルも、「ハノシゴト」の一環として、入試広報委員会の広報部会の教職員が中心となって企画した。新潟病院歯科衛生士の歯科衛生士、歯科技工士の歯科技工士、新潟生命歯学部研究科の大学院生、および新潟短期大学歯学部衛生学専攻の専攻科生の協力を得て開催に至った。

この状況を踏まえて開催されているハノシゴトフエスティバルには、毎年ご参加いただいているリピーターのご家族、このイベントに参加したことで、歯磨きに興味を持ったというお子さん、また、ここでの学びが将来の進学の選択肢になればと期待する保護者の方と、「ハノシゴト」を前に引きつけてくださる参加者が少なくない。



福田教授（東京）最終講義

生命歯学部衛生学講座の福田雅臣教授の最終記念講義は、5月17日に九段ホールにおいて開催され、多数の教職員、学生が聴講した。演題は「Public Health Mindを授け、藤井学長」。

この活動が続けることによって、歯科界全体を活性化させる。これが将来に繋がっていくのではないだろうか。また、新潟短期大学では、令和7年4月に歯科技工学科を開設予定である。就業歯科技工士の高齢化、および歯科技工士を目指す若者の減少という問題が表面化してきた。今、そこに歯止めをかけるべく、本学は歯科技工学科の設置に踏み切った。この歯科技工士問題に関しても、「ハノシゴト」にかかる期待は大きい。

ギネス世界記録認定

渡邊悦郎先生（山梨県） 最高齢の現役歯科医99歳

山梨県の渡邊悦郎先生（40回卒）は、国際ギネス委員会より、5月16日にギネス世界記録に「最高齢の歯科医師（男子）」として認定され登録された。認定当時の年齢は99歳133日。このたび先生がギネスに認定されたのは、99歳で患者診療に当たっている現役の臨床医であるからである。



先生は、大正13年（1924）に生まれ、衛生兵として徴兵後、昭和22年に本学に入学されました。卒業後、昭和28年に故郷の忍野村で開業され、以来、9800人の同村の唯一の歯科開業医として、70年間にわたって地域医療に尽力されました。

先生は、自宅の富士吉田から医院に通われ、数年前まで月曜日から金曜日の午前中に診療されました。3台のユニットは、フル回転だったそうです。現在は、月・水・金の3日間の午前中に、変わらず診療をつづけておられます。

先生は、自宅の富士吉田から医院に通われ、数年前まで月曜日から金曜日の午前中に診療されました。3台のユニットは、フル回転だったそうです。現在は、月・水・金の3日間の午前中に、変わらず診療をつづけておられます。

先生は、自宅の富士吉田から医院に通われ、数年前まで月曜日から金曜日の午前中に診療されました。3台のユニットは、フル回転だったそうです。現在は、月・水・金の3日間の午前中に、変わらず診療をつづけておられます。

先生は、自宅の富士吉田から医院に通われ、数年前まで月曜日から金曜日の午前中に診療されました。3台のユニットは、フル回転だったそうです。現在は、月・水・金の3日間の午前中に、変わらず診療をつづけておられます。



病院の診療室で体験実習の説明をうける

先生は、自宅の富士吉田から医院に通われ、数年前まで月曜日から金曜日の午前中に診療されました。3台のユニットは、フル回転だったそうです。現在は、月・水・金の3日間の午前中に、変わらず診療をつづけておられます。

2025年度(令和7) 日本歯科大学入学試験要項

試験区分	総合型選抜 入学試験Ⅰ期	総合型選抜 入学試験Ⅱ期	学 校 推 薦 型 選 抜 入 学 試 験			一般選抜前期入学試験			一般選抜後期入学試験			大学入学共通テスト利用(後期)入学試験		
学 部	新 潟 生 命 歯 学 部	新 潟 生 命 歯 学 部	新 潟 生 命 歯 学 部	生 命 歯 学 部 (東 京)	生 命 歯 学 部 (東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部		
募集人員	約 2 0 名	約 1 5 名 (指定校制・公募制)	約 4 0 名 (指定校制・公募制)	約 5 3 名	約 3 0 名	約 2 0 名	約 1 0 名	約 1 0 名	若干名	約 5 名	若干名			
出願期間	郵送・窓口とも： 令和 6 年 10月 9 日(火)～12月 2 日(月)～10月22日(火) 窓口受付時間 10：00～16：00		郵送・窓口とも： 令和6年11月11日(月)～11月20日(水)必着 窓口受付時間 10：00～16：00	郵送：令和6年11月1日(金)～11月13日(水)必着 窓口：令和6年11月12日(火)・11月13日(水) 窓口受付時間 9：00～16：00			インターネット出願（インターネット出願でも必要書類の郵送が必須です。下記出願期間内に郵送してください。）			令和7年2月14日(金)～2月25日(火)必着				
	日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500 (代表)		日本歯科大学新潟生命歯学部 (東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311 (代表)			令和7年1月6日(月)～1月23日(水)必着			令和7年1月10日(金)～1月23日(水)必着					
出願場所・試験場														
試験科目等	出願資格 (オープンキャンパス参加が必須、昨年度参加可) ・目標を定めその実現のために積極的に行動することできる ・目標意識と意欲のある者 ・医療人にふさわしい高い倫理観や適性を持った者 ・本学部以外の修学・志望は考えておらず、合格した場合には必ず本学部への入学を確約できる者 ・その他、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者等 (詳細は入試要項を参照)		出願資格 (公募制) 1) 令和6年3月卒業生並びに令和7年3月卒業見込みの者で、人物・健康とともに優れた学業成績が良好で、学校長が推薦する者 2) 合格した場合に入学を確約できる者		出願資格 (指定校制・公募制) 本学の基本理念と教育目標を達成するために、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手の気持ちで理解できる人間性豊かな者で、次の条件を満たすこと。 1) 令和7年3月卒業見込みの者で、人物・健康とともに優れた学校長が推薦する者 2) 合格した場合に入学を確約できる者		学力試験 1. 英語： 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とする。 2. 国語・数学： 『国語』(近代以降の文章)、『数学Ⅰ、数学Ⅱ』のうちから、1科目を選択する。 3. 理科： 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」のうちから、1科目を選択する。		面接試験 受験生本人に対し、個々に行う。		学力試験 1. 英語： 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とする。 2. 国語・数学： 『国語』(近代以降の文章)、『数学Ⅰ、数学Ⅱ』のうちから、1科目を選択する。 3. 理科： 「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」のうちから、1科目を選択する。 ※国語の配点は110点を100点に圧縮換算する。		面接試験 受験生本人に対し、個々に行う。	
	選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 面接試験 3) グループディスカッション 4) 資格取得状況、文化・芸術・スポーツの分野やボランティア活動なども評価		選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 小論文 3) 面接試験		選抜方法 1) 高等学校調査書 2) 英語小テスト 3) 小論文 4) 面接試験		面接試験 受験生本人に対し、個々に行う。		面接試験 受験生本人に対し、個々に行う。		面接試験 受験生本人に対し、個々に行う。			
試験 日	令和 6 年 10月26日(土)	令和 6 年 12月15日(日)	小論文、面接試験とも 令和 6 年11月23日(土)		英語小テスト、小論文、面接試験とも 令和 6 年11月16日(土)		学力試験、面接試験とも 令和 7 年 2 月 1 日 (土)		面接試験：令和 7 年 2 月 8 日 (土)		学力試験、面接試験とも 令和 7 年 3 月 2 日 (日)			
合格発表	令和 6 年 11月 1 日(金)	令和 6 年 12月16日(月)	令和 6 年12月 2 日(月)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。		令和 6 年12月 2 日(月)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する。		令和 7 年 2 月 4 日(火)12時、生命歯学部 (東京) に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する。		令和 7 年 2 月10日(月)12時、生命歯学部 (東京) に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する。		令和 7 年 3 月 4 日(火)10時、生命歯学部 (東京) に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する。			
	本人に合否通知を速達郵便で発送する。													
手続期限	令和 6 年 11月11日(月)	令和 6 年 12月27日(金)	令和 6 年 1 2 月 1 2 日 (水)		令和 6 年 1 2 月 1 2 日 (水)		令和 7 年 2 月 1 4 日 (金)		令和 7 年 2 月 2 0 日 (水)		令和 7 年 3 月 1 4 日 (金)			